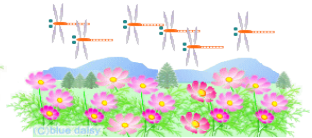
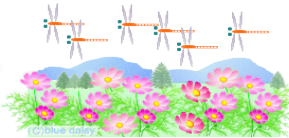


# ゆきあかりの会 お知らせ No.5

2006年10月27日



## ゆきあかりの会にご参加くださった皆様へ

### 朝晩はだいぶ、冷え込んできましたね！

朝晩は大分肌寒くなり、時には暖房が恋しくなる日もあり、風邪が流行っているこの頃ですが、皆さんは、体調を崩されてはいらっしゃいませんか？

11月は、西洋では『死者の月』と呼ばれているそうです。

亡くなった愛する人達や先祖の方々のことを思い起こし、また、自分が、この世では有限な存在であることに思いを巡らす時期でもあるそうです。

日本人の私は・・・この時期、大好きなストロベリーミルクティーを飲みながら、一刻も早く忘れたいこと、絶対に生涯忘れたくないことなど、自分の人生の中のさまざまな出来事に思いを巡らせています。

少しずつ夜が長くなってきたこの頃、皆さんは、どのように過ごされていらっしゃいますか？



### ★今年度の《ゆきあかりの会》の日程です。

☆第5回ゆきあかりの会      \* 次回のみ、会場は5階です！！

日 時 : 2006年11月5日(日)13:00~16:00(受付12:45~)

会 場 : 日本福祉大学名古屋キャンパス北館5階5A教室

☆第6回ゆきあかりの会

日 時 : 2007年1月7日(日)13:00~16:00(受付12:45~)

会 場 : 日本福祉大学名古屋キャンパス北館6階6A教室

☆第7回ゆきあかりの会

日 時 : 2007年3月4日(日)13:00~16:00(受付12:45~)

会 場 : 日本福祉大学名古屋キャンパス北館6階6A教室

### 【ご参加のお申し込み方法】

①ご参加のお申し込みは、それぞれの日程の2日前(金曜日)までに、事務局宛てにお申し込みください。

② 参加費はお一人1000円です。当日、会場の受付でお支払いください。

【お申し込み先】

ゆきあかりの会 事務局 代表 近藤浩子 TEL 090-3909-4515  
FAX 020-4669-4206  
e-mail yukiakarinoakai@yahoo.co.jp



★ ラジオ番組『百万粒の涙を流そう』が始まって…!!

前号でご案内致しました、<ゆきあかりの会>が提供する、『グリーンケアラジオ 百万粒の涙を流そう』が9月3日(日)から3ヶ月間の予定で始まり、すでに8回目(10月22日分)まで放送が終了しました。

「名古屋シティFMラジオ局」というコミュニティFMラジオ局からの放送ですので、電波の出力があまり強くない為に、名古屋市内でもなかなか聴取することが難しく、皆さんの中にも、聴きたくてもなかなか聴けない…という方がいらっしゃるのではないかと思います。

そこで、どのような内容の放送を行っているのかを、一覧表にまとめましたのでご案内致しますね。

番組のメインパーソナリティは、ゆきあかりの会のスタッフでもある鷹見有紀子(たけみゆきこ)です。

<グリーンケア宅配便>は、近藤が鷹見の質問に答えるという形式で、グリーンケアについてのミニ知識をお伝えしたり、東海地域で活動している、さまざまな遺族の会についてご紹介をさせて頂いています。

<グリーンシアター>は、死別の悲しみの癒しとなるような絵本や詩集などをご紹介し、その一部を鷹見有紀子が朗読しています。

そして、最後のコーナーが<番組からのお知らせ>です。

ここでは、東海地域で活動している遺族会の集いの日程や連絡先などをご紹介しています。また、放送をお聴きになった方がご連絡くださった、死別の悲しみの癒しにつながるホームページやブログ(日記風のホームページ)などもご紹介しています。

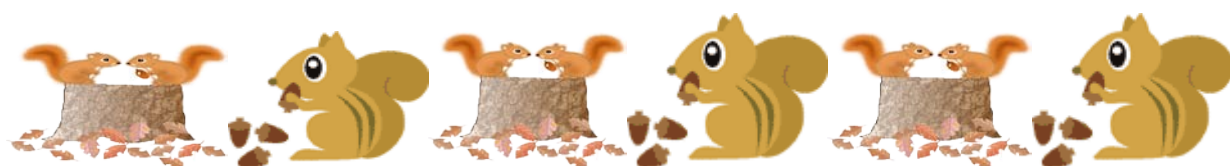
グリーンケアラジオ「百万粒の涙を流そう」の放送内容一覧表

回	放送日	<グリーンケア宅配便>	<グリーンシアター>	<遺族の集いのお知らせ>
1	9.3	「涙を流すことの大切さについて」	CD「千の風」新井満訳・朗読、 詩「心は死なず-君」林一美・作	・生と死を考える会 ・リメンバー名古屋自死遺族の会
2	9.10	「死別体験が心や体・行動に与える変化について」	絵本「水平線の向こうから」 堂園晴彦・作、葉祥明・絵	—

3	9.17	遺族の集い紹介①「伴侶の死の悲嘆にある人々を支える会」	絵本「ある日僕は☆になりました」くまがいなおみ・作	・伴侶の死の悲嘆にある人々を支える会
4	9.24	「グリーフワーク<喪の仕事>について①-衝撃期～悲痛期」	絵本「悲しい本」 谷川俊太郎・訳	・リメンバー名古屋自死遺族の会
5	10.1	「グリーフワーク<喪の仕事>について②-回復期～再生期」	絵本「わすれられないおくりもの」	—
6	10.8	遺族の集い紹介②「全国学校事故・事件を語る会」	詩集「再び会う日のために」 葉祥明・作 タイトル紹介:絵本「ひかりの世界」、絵本「もういちど会える」	・全国学校事故・事件を語る会
7	10.15	遺族の集い紹介③「SIDS(乳幼児突然死症候群)家族の会あいち」	絵本「小さな小さなおとうとだっただけ。」高橋妙子・作	・SIDS 家族の会あいち
8	10.22	遺族の集い紹介④「生と死を考える会」	CD「いつでも会える」 菊田まり子・作	・生と死を考える会 ・ゆきあかりの会

**\* 第9回目以降は今後の予定です。**

9	10.29	「死別体験を持つ子供へのサポートについて」	絵本「いつだって始まり」 星野あつよ・作、	・ゆきあかりの会
10	11.5	遺族の集い紹介⑤ 「インフルエンザ脳症の会-小さいのち愛知支部」	絵本「エヴァはおねえちゃん のいない国で」野坂悦子・訳 タイトル紹介:絵本「レアの星」	・インフルエンザ脳症の会-小さい のち愛知支部 ・生と死を考える会
11	11.12	「悲しみの表現方法の個別性について -家族でも一人ひとり違う-」	絵本「大きなかわのむこうへ」 いとうみゆき・訳	・hahagokoro さんのブログ 「いつだって-息子と生きる日々」
12	11.19	「自殺対策基本法を受けて-名古屋市の自死遺族支援策について-」	絵本「おにいちゃんがいてよ かった」細谷亮太・作	・リメンバー名古屋自死遺族の会
13	11.26	「立ち直ることを急がないで、そして急がせないで」	絵本「おぼえていてね-アーカイブ 星ものがたり」市川拓司・作	・リメンバー名古屋自死遺族の会 ・生と死を考える会



## 素敵な絵本のご紹介 No.4

『ずっと、あなたのそばにいるよ』 坂崎千春／著 二見書房 ¥1,100+税

この絵本は、ほのぼのとした絵と文章が有名な、イラストレーターでもあり絵本作家でもある坂崎千春さんの作品で、副題は『心の中にいる大切な人へ』というものです。

小さい頃はお母さんの後ろにいつも隠れているような、甘えん坊で人見知りだった小熊の『わたし』が、段々と成長して思春期、青年期になり、今度は母親をうとましく、うるさく思うようになり、一人暮らしの楽しさと気楽さを謳歌するようになります。でも、『わたし』が落ち込んだりした時には不思議とお母さんからの連絡があって、いつも見守ってくれている…。久しぶりに会ったお母さんは小さくなったような…。

そしてやがて…。

星になったお母さんを思い、たくさんの思い出と共に、お母さんへの思いを感じていく『わたし』…。

悲しくて切なくて、そして、とても温かい絵本です。



## 皆さん、ご存知でしたか？ 戸籍のお話です…。

私がメール会員となっている、『インフルエンザ脳症の会 小さないのち』の最新の会報に次のようなことが載っていました。

私も知らなくてとても衝撃を受けましたし、皆さんの中にもご存知ではなかった方もおいでになるかと思い、『小さないのち』のご許可を頂きましたので、概要を皆さんにご紹介します。

現在、全国の各自治体では戸籍のコンピュータ化(電子化)が進み、戸籍謄本などの各証明書も、今までの縦書きから横書きになり、公印も、朱肉印から黒色の電子公印になりました。

それに伴い、婚姻や死亡により既に籍を除かれている家族は、電子化後の戸籍には記載されなくなったそうです。つまり、**皆さんがお住みの自治体の電子化が完了する前に亡くなられたご家族の戸籍は、一切、戸籍証明書類に記載されなくなってしまうのです。**

戸籍に、「その人が生きていた」ことの記録がなくなってしまうのです。

亡くなったご家族の証明が必要な場合は、「平成改製原戸籍」を請求することになり、これは改正以前の縦書きの、私たちが“見慣れた”戸籍です。しかし、これは100年間だけしか保存されずに、その後は消却されてしまうそうです。

なお、電子化後にご家族が亡くなられた場合には、「死亡により除籍」という言葉で記載されるそうで、改正前の、名前に×印が付けられるよりは、だいぶ優しいものとなっているそうです。

『インフルエンザ脳症の会 小さないのち』は、乳幼児の我が子をインフルエンザ脳症で亡くされたご遺族や、後遺症を負ったご家族の方々が参加なさっている会です。

小さな小さな子供達は幼稚園や学校等、公的にはどこにも所属していなかったこともあり、また、健康保険や住民票等からも名前を外され、唯一家族のつながりを証明してくれ、『我が子』の生きた証を公的に残せているものとして、ご遺族達の生きる支えであった戸籍からも抹消されていることに、ご遺族の皆さんは

非常に大きな衝撃を受けています。

今、『小さなのち』では、この件について緊急に会員アンケートを取っていて、その結果によっては、法務省へ出向いて、せめて希望するご遺族に対してだけでも、手数料を支払っても良いから、戸籍に遺して貰えないかと交渉していきたいと考えているようです。

私自身、ではどうすれば良いのか・・・ということについて気持ちがまとまっていませんし、どうして良いのか分かりませんが、でも、今回のこのことを初めて知って、とてもショックでした・・・。

皆さんは、亡くなった愛する人が戸籍から一切抹消されていて、戸籍上、「生きた証」が全く亡くなってしまっている事実をお知りになり、どのように感じられましたでしょうか？



ラジオ番組『グリーフケアラジオ百万粒の涙を流そう』の放送を開始してから、いろいろな新しい出会いがありました。

ラジオ局のスタッフの方々とはもちろんですが、さまざまな遺族の集いの人たち、死別の悲しみの中で亡くなった方とのつながりを再確認し、自分も共に生きる為にブログを始めた人・・・、そして、この番組について報道された新聞記事で、<ゆきあかりの会>のことをお知りになった人たち・・・、『出会い』の不思議さと温かさに感謝でいっぱいです。

そして、<ゆきあかりの会>自身も、『出会いと語り合いの場』です。

悲しくつらい出来事がきっかけという、本来ならば出会わない方が『幸せな生き方』だったのかもしれないあなたと私が、人間の力を超えた、“何か”の力によって、『今、ここで』出会えたことは、まさに奇跡だと私は思っています。

私は皆さんに出会えたこと、本当にお一人お一人に感謝の気持ちでいっぱいです！

本当に苦しくておつらい中、勇気をふりしぼってご連絡をくださり、必死の思いで足を運んでくださり、ありがとうございます。皆さんからの働きかけがなかったら、私たちの出会いはありませんでした。

皆さんが一步を踏み出してくださった勇気に、本当に心が震える思いです。

11月5日のゆきあかりの会の集い、肌寒くなってきている時期ですが、心からお待ちしています。

ゆきあかりの会では、皆さんから、『お知らせ』に載せたいニュースやご意見なども随時募集しています。

- \* この『お知らせ』の送付先は、ゆきあかりの会の集いにご参加くださったご遺族の皆さん、そして、<ゆきあかりの会のホームページ>でも掲載しています。

**ぜひぜひ！！**

大切な人を亡くした方の集い「ゆきあかりの会」代表 近藤浩子